

企業紹介

人がいきいきとする環境の創造を目指して！
プレハブ建築のプロフェッショナル集団

KANETSU HOUSE

関越ハウス工業株式会社

代表取締役社長 宇陀 昇
〒950-0911 新潟市中央区笹口3丁目4番地3
TEL 025-243-4381 FAX 025-243-4383
<http://www.kanetsuhouse.com/>

業 種：プレハブ建築、プレハブ製造販売、リース
資 本 金：3,000万円
事業内容：各種プレハブ製造・販売・リース
ユニットハウス・トイレ等の販売・リース、
yess建築新潟ビルダー、一般建築・店舗・
設計施工及び不動産売買・仲介斡旋

事務所や店舗、工場、倉庫、ガレージなどのプレハブ建築の総合メーカーである関越ハウス工業(株)。創業28年目を迎えるプレハブ建築のスペシャリストとして、企画提案、設計施工、メンテナンスまで一貫した「責任施工体制」で対応する。近年、多発する大災害からの復旧復興に向け仮設住宅・事務所の提供にも積極的に取り組む。

プレハブ建築のスペシャリスト

同社は、宇陀社長がプレハブ業界での営業現場・マネジメントの経験を活かし昭和61年に起業。今年で創業28年目を迎えるプレハブ建築のスペシャリストである。平成2年には、業容の拡大に伴い工場兼配送センターを新設し、生産、物流などの効率化や強化を図っている。人と人とのつながりを大切に、多様化するニーズに的確に応え続けることで、お客さまから厚い信頼が寄せられている。



▲新潟市中央区笹口にある本社屋

信頼性の高い責任施工体制が強み

プレハブ工法の大きなメリットは、在来工法に比べ工期を3割程度短縮できることと、約2割のコストダウンを実現できること。

加えて、独自の強みは、何と言っても企画提案、設計施工からメンテナンスまで一貫した「責任施工体制」を構築していることにある。

人材面では、若手社員を優秀なベテラン社員の指導のもと、早くから現場経験を積ませるなど人材の育成に努めているほか、社員同士のチームワークの良さと提案力、技術力、機動力も同社の強みとなっている。

プレハブの特性に加え、同社の企業力を背景に、同社の製品は、事務所や店舗、倉庫、工場、ガレージ、農業用施設、仮設住宅など様々な業種や用途、規模で幅広く活用されている。最近では、新潟市中央区万代島にある「にぎわい市場ピア万代」やJR東日本仮設駅舎（上越線塩沢駅、越後線内野駅）なども手掛けている。



▲同社が手がけた仮設駅舎
(JR上越線塩沢駅)



▲「にぎわい市場ピア万代」
(新潟市中央区万代島)

仮設住宅の提供など支援活動にも積極的に取り組む

同社は、平成16年の新潟県中越大地震、平成19年の新潟県中越沖地震、さらには平成23年3月の東日本大震災と、数多くの仮設住宅の提供・協力を行ってきた。それと共に、復興時の仮設事務所、工場、倉庫など、復旧復興に向けた支援活動にも積極的に取り組んでいる。

また、最近では、新潟県内にとどまらず福島県など近隣各県からの要請にも対応するなど営業範囲を広げ、業容の更なる拡大を図っている。



▲ランドセル工場
(福島県会津若松市)